

しせつあんないず  
**阿寒国際ツルセンター[グルス] 施設案内図**  
 Map of the Akan International Crane Center [GRUS]

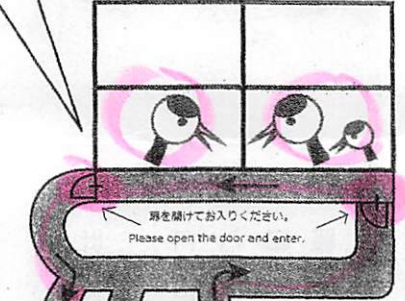


**ムック♀**  
 2002年に人間がツルの着ぐるみで育てるコスチューム飼育にて大きくなった女の子。途中で病を患いましたが獣医さんの懸命な看病のおかげで一命を取り留めました。ですがその時に人馴れしてしまい、今では恋のお相手が飼育員さん！毎年産卵しちゃいます。もちろん無精卵ですよ。

**ビオトープ Biotope**  
 ※人工的に造られた自然です。散策すると、たくさんの動物に出逢うことができます。(夏-秋)  
 A recreated, natural space. Stroll through to see many plants and animals. (Summer-autumn)

**野外飼育場**  
**Outdoor pens**  
**タンチョウ**  
**Red-crowned Crane**

**アサヒ&ソラ**  
 毎年産卵するペアですが、まだ有精卵を産んだことがありません。彼らが親となる日を心待ちにしていたが昨年、別施設で産まれた有精卵の代理親となりました。初めての子育てでしたがとても上手にヒナのお世話をし、立派に育て上げました。両親の名前に由来して、ヒナタと名付けられましたよ。



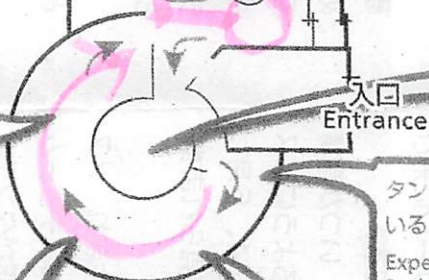
**マナヅル**  
**White-naped Crane**  
**翔(かける)♂**  
 2007年に上野動物園で生まれて人工飼育され、2013年に上野動物園から引越してきました。人が大好きなので近づくとき声を出したり踊ったりする姿がよく見られます♪



**ヒナタ ♀** 2022.06.20生まれ  
 この先のケージに暮らすアサヒとソラが、別の施設で産まれた卵の代理親として立派に育て上げました。アサヒとソラの愛情をたっぷり受けて育ったヒナタはあまえんぼうで寝しがりやなので、たくさん話しかけてあげてください☆

**タンチョウの羽や卵、エゾシカの角などの実物を触ったり持ってみたりしましょう。**  
 You can touch or hold a Crane's real feather and egg; or the horn of a Sika Deer, and other natural wonders.

**タンチョウの巣をのぞいてみましょう。**  
 Take a peek inside the nest of the Red-crowned Crane.



**タンチョウの一年をまとめた**  
 約17分の貴重な映像  
**A year in the life of a Red-crowned Crane-video presentation (17mins.)**

**タンチョウが暮らす湿原の中を歩いて**  
 いるような…足元にご注意！  
 Experience a marsh-like setting such as the Red-crowned Cranes inhabit.... Watch your step!

**パネル解説はよく読んで。知らなかったヒミツがいっぱい。**  
 Discover surprising facts about Red-crowned Cranes' on our explanatory panels.

## ツルセンターの仲間たち

①マナツル 翔（かける） 2007年生まれ オス  
上野動物園より2013年秋に引っ越して来まし  
た。人工飼育のため人に馴れており、人が近付く  
と喜んで近付いて来たり鳴いたりすることがあり  
ます。

今は独りで暮らしていますが、いずれメスを連  
れて来てお見合い、繁殖を計画しています。

## ②アサヒ（オス）&ソラ（メス）

人工飼育されたアサヒに恋をしてケージに飛び  
込んだソラ。情熱的な恋をした夫婦です。

毎年産卵しますが、いつも無精卵。いつか有精  
卵を産み、ここでヒナの姿を見られるようにとス  
タッフ一同見守っています。繁殖期（4、5月）  
には、卵を抱いている貴重なシーンが見られます。

## ③ムック 2002年5月30日生まれ メス

阿寒国際ツルセンターで生まれ、コスチューム  
飼育という手法で育ったムック。人間がタンチョ  
ウの着ぐるみを纏って親代わりとなりました。生  
まれて初めて見たものを親だと思い込む「刷り込  
み現象」を回避する為です。しかし病気を患い、  
コスチュームを脱いでの看病によって人馴れして  
しまったため、野生界へは放しません。

人馴れしたムックは恋のお相手も人間。飼育員  
さんが大好きで、春には飼育員さんを想って卵を  
産んでしまいます。

## 基本情報

### タンチョウ

体高：約150cm 体重：7~10kg 翼開長：220~240cm

北海道で見られるタンチョウは渡りをせず、一年  
を通して北海道に暮らす留鳥です。中国大陸にもタ  
ンチョウは生息しますが、北海道へ渡ることはあり  
ません。現在、北海道内での生息数は約1500羽、  
中国大陸の生息数も同数程度で、世界的に見ても絶  
滅の恐れのある種なのです。

北海道のタンチョウは、夏は子育てのため釧路湿  
原やその周辺の湿地などの奥深い場所で暮らすた  
めあまり出会える機会はありません。冬になると餌  
を求めて給餌場へ集まり、ここ阿寒の給餌場にも毎  
冬200~300羽のタンチョウが集まります。タン  
チョウは雑食性ですが、給餌場での餌はトウモロコ  
シと魚です。

寿命は野生個体で約20年、飼育個体で約40年  
とされています。

### マナツル

体高：約140cm 体重：5~6kg 翼開長：約180cm

シベリア東南部や中国東北部、モンゴル北部など  
のアムール川流域で繁殖し、朝鮮半島や揚子江下流  
域などで越冬します。日本ではナベヅルと並んで鹿  
児島県の出水平野での越冬が有名です。

## 阿寒国際ツルセンター【グルス】

### 見学のしおり

阿寒国際ツルセンターで有意義な時間を

お過ごし頂くための見学のしおりです。

このしおりをお読み頂きながら見学される

ことをオススメいたします♪

生きた  
博物館

見て！

触れて！

感じて！

タンチョウのファンに☆  
キッズコーナーも充実♪  
ピオトープの散策もどうぞ！